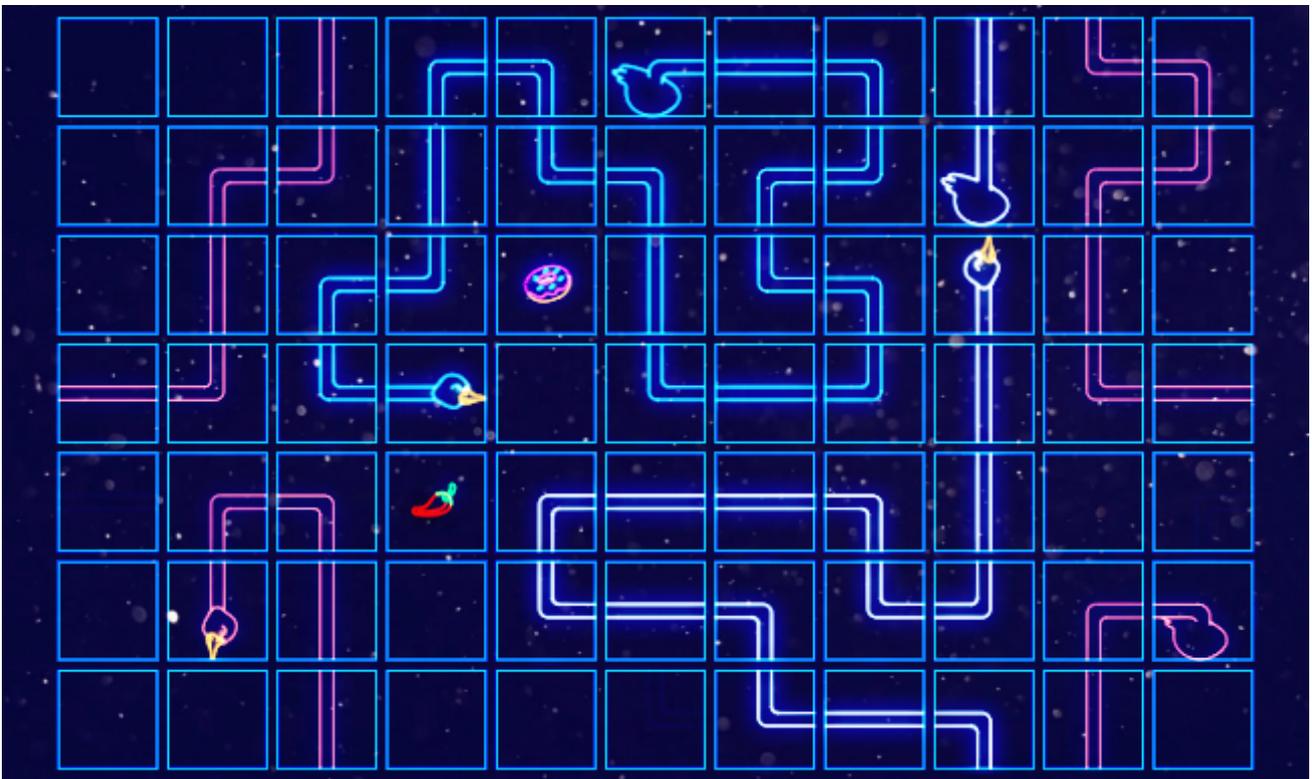


報道関係者各位

2021年8月12日

**世界最大の AI コミュニティ「Kaggle」のゲーム AI コンペティション「Hungry Geese」で quantum のメンバーを含むチームが優勝。**

株式会社 QUANTUM (本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：高松充、以下「quantum」、読み方：クオインタム)の AI 技術顧問として quantum AI を支える大渡勝己と、DeNA 社の田中一樹氏によるチーム「HandyRL」は、世界中のデータサイエンティストが登録する世界最大の AI コミュニティ「Kaggle」内にてこの度開催された、ゲーム AI コンペティション「Hungry Geese」で、quantumの開発サポートのもと、参加875チーム中1位を獲得、優勝いたしました。quantumとして、Kaggleのコンペティションにおける初めての優勝となります。



Hungry Geese は 4 チームが同時に対戦するゲームで、自分のチームのガチョウを操作し、食物を食べて体を長くしながらマスの上を移動し、自分の体や相手チームのガチョウにぶつかることなく、長く生き残ることを競います。本コンペティションは、このゲームをプレイする AI を開発し、その強さを競うもので、参加した 875 チーム (1039 人) により熱戦が繰り広げられました。

今回の AI 開発においては、多人数ゲームならではの協力や、想定外の行動をとってくる相手に対してのリスク管理といった、既存の二人ゲームにおける AI 技術では対応できない事象を上手に扱うことが求められました。本コンペティションでの取り組みは多人数ゲームのような、複数要素が絡み合い刻々と変化する状況下における AI 技術の発展に寄与できると考えられます。

優勝を果たしたチーム「HandyRL」の AI の開発は大渡が中心となってい、また学習の大部分には quantumAI のマシンを用いました。今回の成果を受けて、quantum AI は日本の AI 技術をリードし、企業の機械学習プロジェクトにおける開発、実装から運用までサポートできるチームを目指し、これまで以上に邁進してまいります。

コンペティションの概要、結果はこちらからご覧いただけます。

(※大渡と DeNA の田中氏のチーム名は HandyRL )

<https://www.kaggle.com/c/hungry-geese/leaderboard>

### ●大渡コメント (大会を終えて)

quantum の素晴らしい環境とサポートによって、強化学習をはじめとする AI 技術の価値を伝える素晴らしい経験ができました。支えてくれた全ての人達に心から感謝します。故郷の大分でいつも見守ってくれている家族にいい報告ができます。

### ●Kaggle について ( <https://www.kaggle.com/> )

世界中の統計化、データ分析家、研究者などのデータサイエンティストが登録しており、分析手法を投稿し、お互いに競うプラットフォーム及びその運営企業。投稿された課題に対し、参加者が最適なモデルを構築し競い合う。2017 年に Google が買収。

### ●quantum AI について



quantum AI は、機械学習システムの開発と実装支援をするプロジェクトチームです。AI を導入する企業向けに、アカデミアによる AI 研究から機械学習の開発・運用までを一気通貫で提供しています。

- ビジネス上の課題と機械学習をマッチングさせるフルスクラッチ AI 開発が可能  
国立大学 電気通信大学との産学連携で、高速演算処理対応のコンピューティングを備える quantum AI のラボを運営。ビジネス上の課題を解決する機械学習システムを開発するために、アカデミアの知見を軸に、機械学習アルゴリズムをプラットフォームロックなくゼロから開発します。
- 複合的な視点で機械学習システムを設計して、実装できるメンバー  
アカデミアの AI 研究者、機械学習のデータサイエンティスト、データエンジニア、AI 系スタートアップの起業経験者、AI 系の新規事業開発経験者の視点で、機械学習システムを設計します。

●quantum について ( <https://www.quantum.ne.jp> )

# quantum

quantum はクリエイティビティを軸とした事業開発によって、新しいプロダクトやサービスを創り出すスタートアップスタジオです。2016 年の創業以来、venture builders として自社事業を立ち上げるとともに、70 社を超える企業やスタートアップ、大学と事業開発に取組み、共同創業により多様な新規事業を生み出してきました。

これからも quantum は起業家精神を大切にするカルチャーの中、クリエイティビティと実装力を駆使して、連続的に"Zero to Impact"に挑戦していきます。

<本プレスリリースに関する問合せ先>

quantum 広報:木村俊介・尾形亜季 電話:03-5446-7203 FAX:03-5439-5730 e-mail:info@quantum.ne.jp